

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 2 月 3 日

福岡地方裁判所第 4 民事部

裁判所書記官 河 野 広 和

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 2 月 18 日から 令和 8 年 2 月 25 日まで
開札期日	日 時 令和 8 年 3 月 3 日 午前 9 時 30 分 場 所 福岡地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 3 月 18 日 午前 9 時 50 分 場 所 福岡地方裁判所第 4 民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。同証明書の交付については, 物件所在地の農業委員会にお尋ね下さい。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 2 月 3 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～4	6,700,000 5,360,000	一括	1,340,000	54,758	0
1	3,110,000				
2	500,000				
3	310,000				
4	2,780,000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 那珂川市大字安徳字前 |
| | 地 番 | 770番2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 296.39平方メートル |
| 2 | 所 在 | 那珂川市大字安徳字前 |
| | 地 番 | 770番4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 47.93平方メートル |
| 3 | 所 在 | 那珂川市大字安徳字前 |
| | 地 番 | 738番1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 29.43平方メートル |
| 4 | 所 在 | 那珂川市大字安徳字前770番地2 |
| | 家屋 番号 | 770番2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 94.71平方メートル
2階 28.98平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 8年 1月 9日

福岡地方裁判所第4民事部

裁判所書記官 藤 本 奈津子

1 不動産の表示

【物件番号1～4】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～4】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1～4】

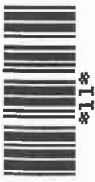
本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

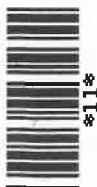
《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意



味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 那珂川市大字安徳字前 |
| | 地 番 | 770番2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 296.39平方メートル |
| 2 | 所 在 | 那珂川市大字安徳字前 |
| | 地 番 | 770番4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 47.93平方メートル |
| 3 | 所 在 | 那珂川市大字安徳字前 |
| | 地 番 | 738番1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 29.43平方メートル |
| 4 | 所 在 | 那珂川市大字安徳字前770番地2 |
| | 家屋 番号 | 770番2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 94.71平方メートル
2階 28.98平方メートル |



令和7年（ケ）第150号
令和7年10月21日受理
令和7年12月12日提出

現況調査報告書

福岡地方裁判所

執行官 井手 義 治

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------------------------|
| 1 | 所 在 | 那珂川市大字安德字前 |
| | 地 番 | 770 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 296.39 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 那珂川市大字安德字前 |
| | 地 番 | 770 番 4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 47.93 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 那珂川市大字安德字前 |
| | 地 番 | 738 番 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 29.43 平方メートル |
| 4 | 所 在 | 那珂川市大字安德字前 770 番地 2 |
| | 家屋 番号 | 770 番 2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 94.71 平方メートル
2 階 28.98 平方メートル |

(2枚目)

不 動 産 の 表 示	「物件目録」のとおり
住 居 表 示	住居表示未実施 付近
土 地	物件 2, 3
現 況 地 目	☒ 宅地（物件 2, 3） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ 農地（物件 ） ☐ 雑種地（物件 ） ☐ 山林（物件 ） ☐ ☐
形 状	☒ 公図のとおり（物件 2, 3） ☒ 地積測量図のとおり（物件 2） ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 ☐ 上記の者が本件土地上に、下記目的外建物を所有し、占有している ☐ 上記の者が駐車場として使用し、占有している ☒ 上記の者が更地の状態で占有している ☐ 公衆用道路として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり
そ の 他 の 事 項	☒ 物件 2, 3 各土地は中央に「道」を挟んで一体として北側の道路までの通路として使用されている
執 行 官 保 管 の 仮 処 分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 [保管開始日 平成 年 月 日
建 物 (目 的 外 建 物)	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■近隣者	1 物件4建物について、当初は家族で居住されていましたが、現在は所有者が1人で居住されていると思います。
■隣地所有者	1 物件4建物には所有者が1人で居住されていると思いますが、最近、昼間はあまり見かけません。 2 井戸ポンプは、所有者のものだと思います。 2 物件1～3各土地について、隣地との境界に争いはないと思います。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

■ 1 (接道)

物件1～3各土地は、公図のとおり、公道(公図上の表記は「道」)に接道している。

なお、物件1～3各土地は一体として物件4建物の敷地等として使用されているが、物件2、3各土地は中央に「道」を挟んで一体として北側の道路までの通路として使用されている。また、物件2土地は公図上は北側で水路を介して道路に接面しているが、水路全体に蓋がされており道路の幅員に含まれている。

2 (形状等)

物件1～3各土地本件土地には、現地復元性を有すると思われる図面が存在する。しかし、境界と思われる付近にはコンクリートブロック塀等が存在するものの境界標等は確認できなかった。

3 (占有状況等)

物件4建物の占有状況等については、関係人の陳述、現地確認の結果等から2枚目記載のとおりと認めた。

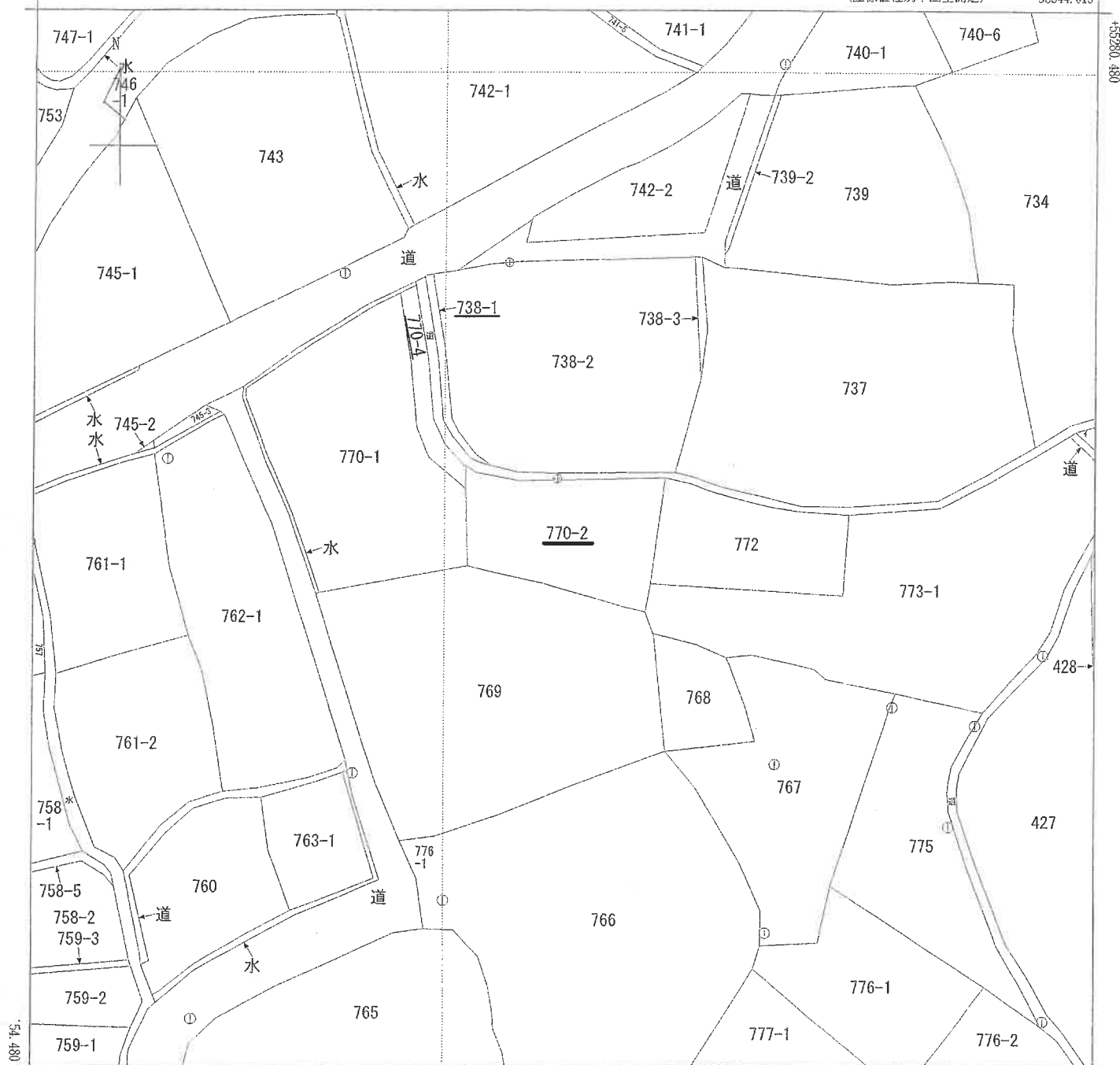
4 (損傷等)

物件4建物については、全体的に経年に伴う老朽化が認められ、外壁や壁クロスなどの損傷等が見受けられた。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
R 7 年 10月21日(火) 9:00 - 9:10	執行官室	建物図面請求
R 7 年 10月31日(金) 15:00 - 15:20	物件所在地	現地確認, 在宅依頼, 写真撮影
R 7 年 11月11日(火) 15:00 - 15:30	物件所在地	全戸不在, 外形的状況調査, 近隣者から口頭聴取
R 7 年 11月12日(水) 12:00 - 12:20	福岡法務局	公図, 地積測量図等の調査
R 7 年 11月20日(木) 8:30 - 8:40	執行官室	占有状況等について所有者に対し書面照会
R 7 年 12月2日(火) 14:30 - 15:20	物件所在地	立入調査, 写真撮影, 隣地所有者から口頭聴取
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 解錠技術者及び立会人を同行して臨場した。 ☒ 令和7年12月2日 目的物件は施錠されていたので, 立会人Aを立ち会わせ, 解錠技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は, 「☒」の箇所の記載のとおり



地番区域見出

大字安德

請求部	所在	那珂川市大字安德字前				地番	770番2			
出力縮尺	1/500	精度区分	甲三	座標系番号又は記号	II	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日					備付年月日(原図)			補記事項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年11月12日
福岡法務局請求番号：51-3
(1/1)

(7枚目)

A 4 判に縮小

公用

登記年月日：昭和57年5月25日

次頁に図面に関する変更内容を示す。

令和7年11月12日 福岡法務局

214765

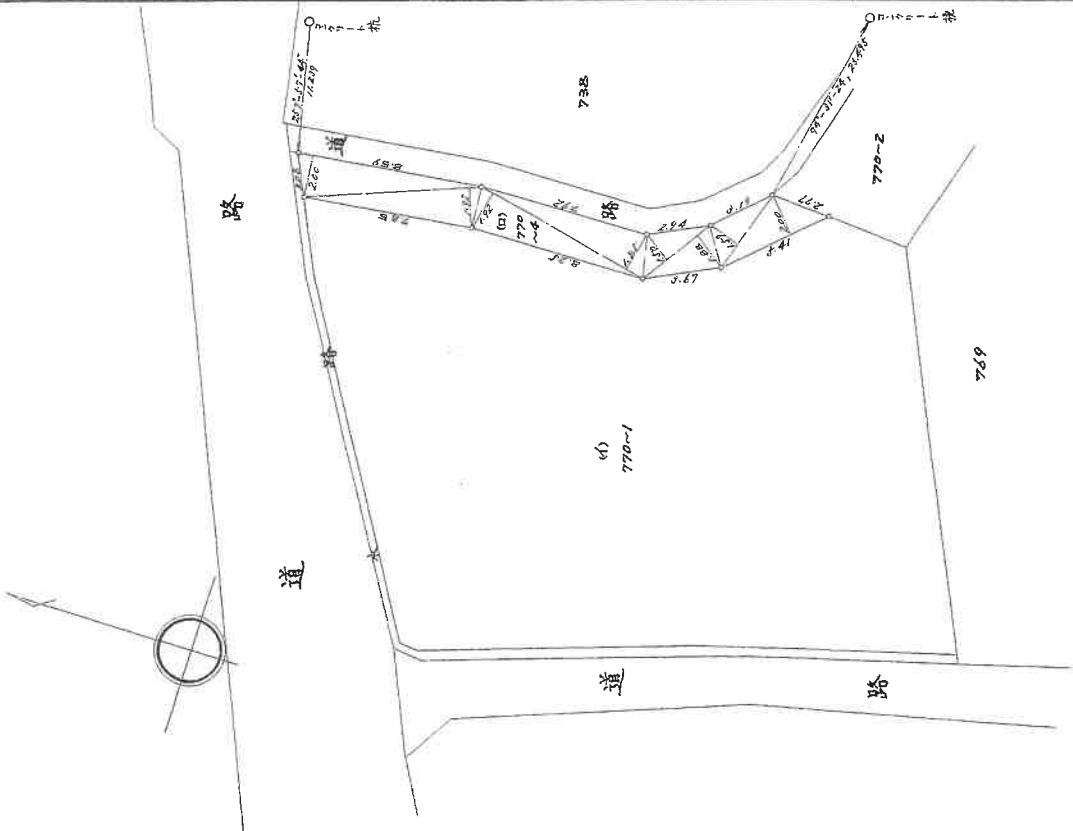
平成57年5月25日登記

新 770-1 770-4

地積測量図

土地の所在 筑紫郡那珂川町大字徳字前

** 坪数換算 ** (口) 770-4		
1)	8.59 X 2.00 =	17.1800
2)	8.21 X 1.92 =	15.7632
3)	8.60 X 1.92 =	16.5120
4)	8.60 X 1.85 =	15.9100
5)	3.93 X 1.50 =	5.8950
6)	3.93 X 1.88 =	7.3884
7)	4.03 X 1.59 =	6.4077
8)	5.41 X 2.00 =	10.8200
ハ イ メ ー ト		95.8763
メ ー ト		47.53815



作製者

申請人

縮尺 1/250

(福岡県土地家屋調査士会)

- (1) 平成30年10月12日
この図面に記録されている土地の全部又は一部に
ついてその所在又は地番が変更された。記録した日
上記の日付は、この図面に変更内容を記録した日
付である。

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年11月12日 福岡法務局

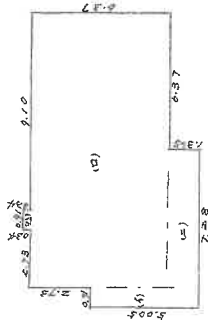
700093 昭和59年5月24日登記
各階平面図

建物図面
各階平面図

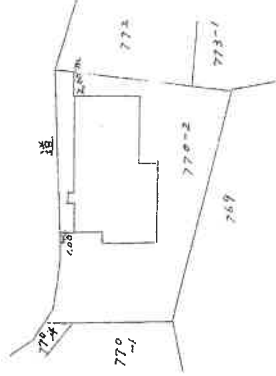
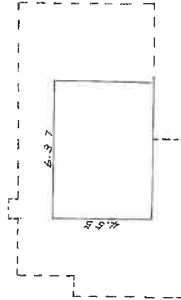
家屋番号 770番2

建物の所在 筑紫郡那珂川町父島新田前770番地2

1 階



2 階



作製者

縮尺 1/250

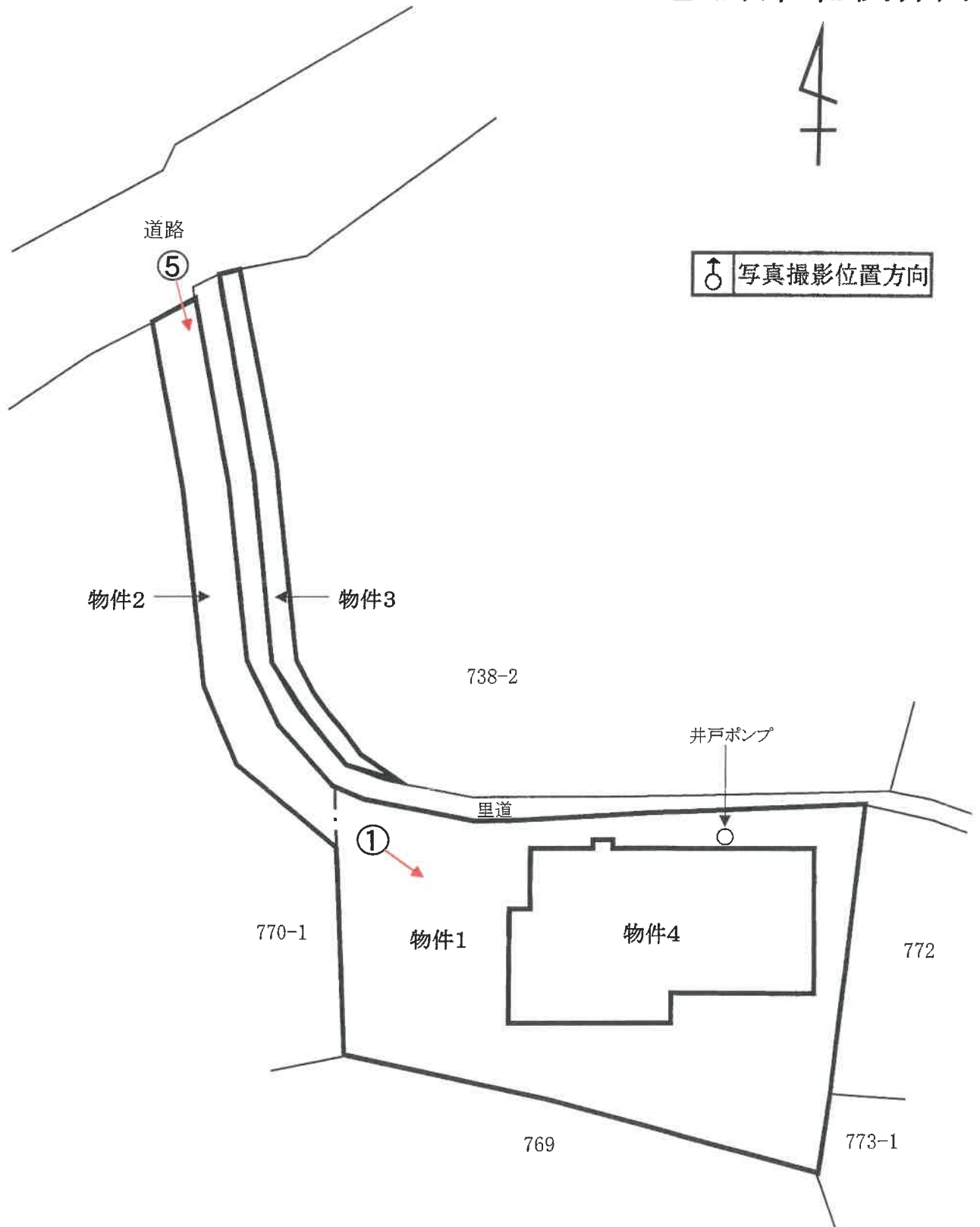
申請人

縮尺 1/500

(福岡県土地家屋調査士会)

(1) 平成30年10月12日
この図面に記録されている建物の金部又は一部に
ついてその所在文は家屋番号が変更された。
上記の日付は、この図面に変更内容を記録した日
付である。

土地建物位置関係図



間 取 図

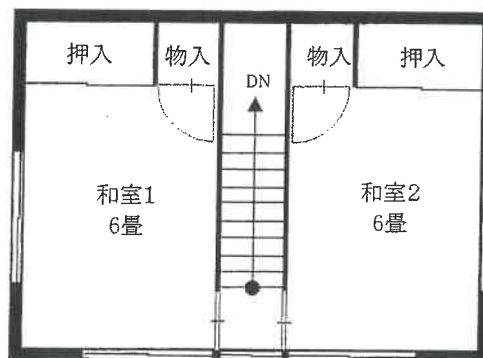
↑ 写真撮影位置方向



1階



2階





No. 1



No. 2

物件 4 建物の室内を撮影



No. 3

物件 4 建物の室内を撮影

No. 4

物件4建物の室内を撮影



物件 4 建物



No. 5

物件2, 3各土地を撮影

令和 7 年（ケ）第 150 号
令和 7 年 12 月 2 日 現地調査
令和 7 年 12 月 19 日 評 価

福岡地方裁判所 御中

評 価 書

※

評価人 不動産鑑定士

川 村 勇 人 印

第1 評価額

一 括 価 格	
金 6,700,000 円	
内 訳 価 格	
物件1（土地）	金 3,110,000 円
物件2（土地）	金 500,000 円
物件3（土地）	金 310,000 円
物件4（建物）	金 2,780,000 円

- ① 一括価格は、物件1～4の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件1～3の内訳価格は物件4のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件4の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については、原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	那珂川市大字安德字前 770 番 2 宅地 296.39㎡	特記事項のとおり
2	所 在 地 番 地 目 地 積	那珂川市大字安德字前 770 番 4 宅地 47.93㎡	特記事項のとおり
3	所 在 地 番 地 目 地 積	那珂川市大字安德字前 738 番 1 宅地 29.43㎡	特記事項のとおり
4	所 在 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積	那珂川市大字安德字前 770番地2 770 番 2 居宅 木造瓦葺2階建 1階 94.71㎡ 2階 28.98㎡	同左
番号	特 記 事 項		
1～3	数量については、現地の状況や建物の配置等により正確に確認できないが、物件2は地積測量図があり、その図面と現地における状況が概ね符合し、物件1・3は諸図面による概測の結果、登記地積と大きな差は認められないので、登記地積を採用して評価した。		
住 居 表 示	住居表示未実施		

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等（物件1～3一体）

位 置 ・ 交 通 (直線距離)	J R博多南線「博多南」駅の南西方、約2.7km 西鉄バス「西隈・市役所入口」停留所の南東方、約300m。 (別添「位置図」参照)
付 近 の 状 況	那珂川市の南部郊外、国道385号沿線の東側背後に所在する住宅地域で、一般住宅のほか、事業所、農地等が混在した利用状況にある。 なお、地域環境等が変化する要因はなく、今後も現状維持で推移すると予測される。
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都 市 計 画 区 分 市街化調整区域 用 途 地 域 地域指定なし 建 ぺ い 率 60% 容 積 率 200% 防 火 規 制 地域指定なし そ の 他 立地適正化計画 居住誘導区域外
画 地 条 件	地 積 373.75㎡ (登記地積) 形 状 不整形 (別添「地積測量図(写)」等参照。) 間 口 約2m (物件3を除く) 奥 行 約35m 接 道 関 係 一方路
接 面 道 路 の 状 況	北側で幅員約4.9～5.5mの舗装市道（建築基準法第42条第1項の道路に該当）とほぼ等高に接面。
土地の利用状況等	「現況調査報告書」記載のとおり。
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : なし（井戸） ガス配管 : なし 下 水 道 : あり (注) 敷地内への引き込みを基準とし、「あり」とは引き込みが有る場合、「なし」とは引き込みが無い場合である。
特 記 事 項	・現地調査、関係者等からの聴取及び官公署における公表資料を調査した範囲では、土壤汚染をうかがわせる事実認められなかった。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地「安徳台遺跡群」の区域内にあるため、建物の新築等に伴い土地を掘削する場合は文化財保護法に基づく届出を要する。また、工事内容により試掘調査、更に、発掘調査が必要となる場合もあるため、買受人において調査・確認を要する。 ・従物等として、井戸ポンプが存する。 ・物件2と物件3の間に里道が介在しており、本件土地と一体的に利用されている。 ・物件1・2は下記のとおり、建築許可不要宅地確認（旧既存宅地制度）が取られている。 (年月日・番号) 昭和58年5月13日 第35号 (面積) 343.36㎡ (建物の用途) 専用住宅 (構造) 木造2階建 (床面積) 建築面積 88.60㎡ 延べ床面積 112.61㎡ ・隣地との境界については、「現況調査報告書」記載のとおりである。

2. 建物の概況及び利用状況（物件4）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載）：昭和59年5月15日 新築 経過年数：約 42 年 経済的全耐用年数：約 25 年 経済的残存耐用年数：約 0 年
仕 様	構造：木造2階建 屋根：瓦葺 外壁：モルタル吹付け ほか 天井：ビニールクロス貼、合板 ほか 床：フローリング、タタミ ほか 内壁：ビニールクロス貼 ほか 設備：電気、ガス、給排水設備 等
床面積（現況）	未登記の増築並びに滅失部分はなく、登記上の床面積とほぼ同様である。
現況用途等	現況用途：居宅 間取り：4LDK （別添「間取図」参照。）
品 等	使用資材：普通 施工状態：普通
保守管理の状態	劣る（外壁や壁クロス等の損傷のほか、内外装の汚れ・摩耗等が観察される。）
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり。
特記事項	・建物に付属する各種設備については、動作確認までは出来ないため、使用可能かどうか不明である。 ・建築基準法に基づく建築確認（確認済証 昭和58年12月23日交付 第7242号）の手続きを行っていることは確認できたが、工事完了検査の手続きは確認できなかった。 ・対象建物についてはアスベストを含有する形成板等が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については、専門調査機関の分析調査を要する。

第5 評価額算出の過程

1. 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1～3）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	40,000	0.78	296.39	0.80	7,400,000
2	40,000	0.78	47.93	0.80	1,200,000
3	40,000	0.78	29.43	0.80	730,000

【注】計算結果の数値は、万円未満を四捨五入した。（以下同じ）

ア 標準画地価格：基準地「那珂川（県）－7」の公示価格等を規準として査定した。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{公示価格等} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 40,000\text{円/㎡} & \times & \frac{101}{100} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{101} & = & 40,000\text{円/㎡} \end{array}$$

◇ 時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇ 標準化補正：補正要因なし 1.00

$$\begin{array}{ccccccc} \text{◇ 地 域 格 差} & : & \text{街路条件} & & \text{接近条件} & & \text{環境条件} & & \text{行政的条件} & & \text{地域格差} \\ & & 1.00 & \times & 0.96 & \times & 1.05 & \times & 1.00 & = & 1.01 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccccccc} \text{イ 個 別 格 差} & : & \text{形状} & & \text{里道介在} & & \text{個別格差} \\ & & 0.80 & \times & 0.98 & = & 0.78 \end{array}$$

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：建物と敷地との適応の状態、将来発生する解体費用、土地価格に対する解体費用の水準等を考慮した。

(2) 建物価格（物件4）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ
4	190,000	123.69	0.01	240,000

ウ 現価率：（査定）

物件4は建築後約42年を経過しており、既に経済的耐用年数を満了している。従って、残価率5%を基本に建物の現状を考慮した観察減価法による補正（－80%）を施して現価率を査定した。

	残価率	観察減価法	現価率
物件4	0.05	$\times (1 - 0.80)$	$= 0.01$

2. 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番 号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	7,400,000	0.40	法定地上権	2,960,000
2	1,200,000	0.40	法定地上権	480,000
3	730,000	0.40	法定地上権	290,000
計				3,730,000

イ 土地利用権等割合： 土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を40%と査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格の 控除及び加算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評 価 額 (円) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	7,400,000	－ 2,960,000		1.00	0.70	3,110,000
2	1,200,000	－ 480,000		1.00	0.70	500,000
3	730,000	－ 290,000		1.00	0.70	310,000
4	240,000	＋ 3,730,000	1.00	1.00	0.70	2,780,000
一 括 価 格 (合 計)						6,700,000

ウ 占有減価修正： 修正の必要はない。

エ 市場性修正： 修正の必要はない。

オ 競売市場修正： 評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

基準地標準価格：基準地「那珂川（県）－7」
所在：那珂川市大字山田字ケサマル1099番1
住居表示：住居表示未実施
価格：40,000 円/㎡（対前年変動率 2.6%）
価格時点：令和7年7月1日
地積：281㎡
地域の概要：一般住宅、農家住宅等が混在し周辺に農地も見られる住宅地域
接面街路：北側幅員約5.5m 市道
供給処理施設：下水
位置：JR博多南線「博多南」駅の南西方、道路距離4.7km。
用途指定等：市街化調整区域（建ぺい率 60%、容積率 200%）

第7 附属資料の表示

1 位置図	2 葉
2 公図（写）	1 葉
3 地積測量図（写）	2 葉
4 建物図面・各階平面図（写）	2 葉
5 土地・建物位置関係図	1 葉
6 間取図	1 葉
7 現況写真	3 葉

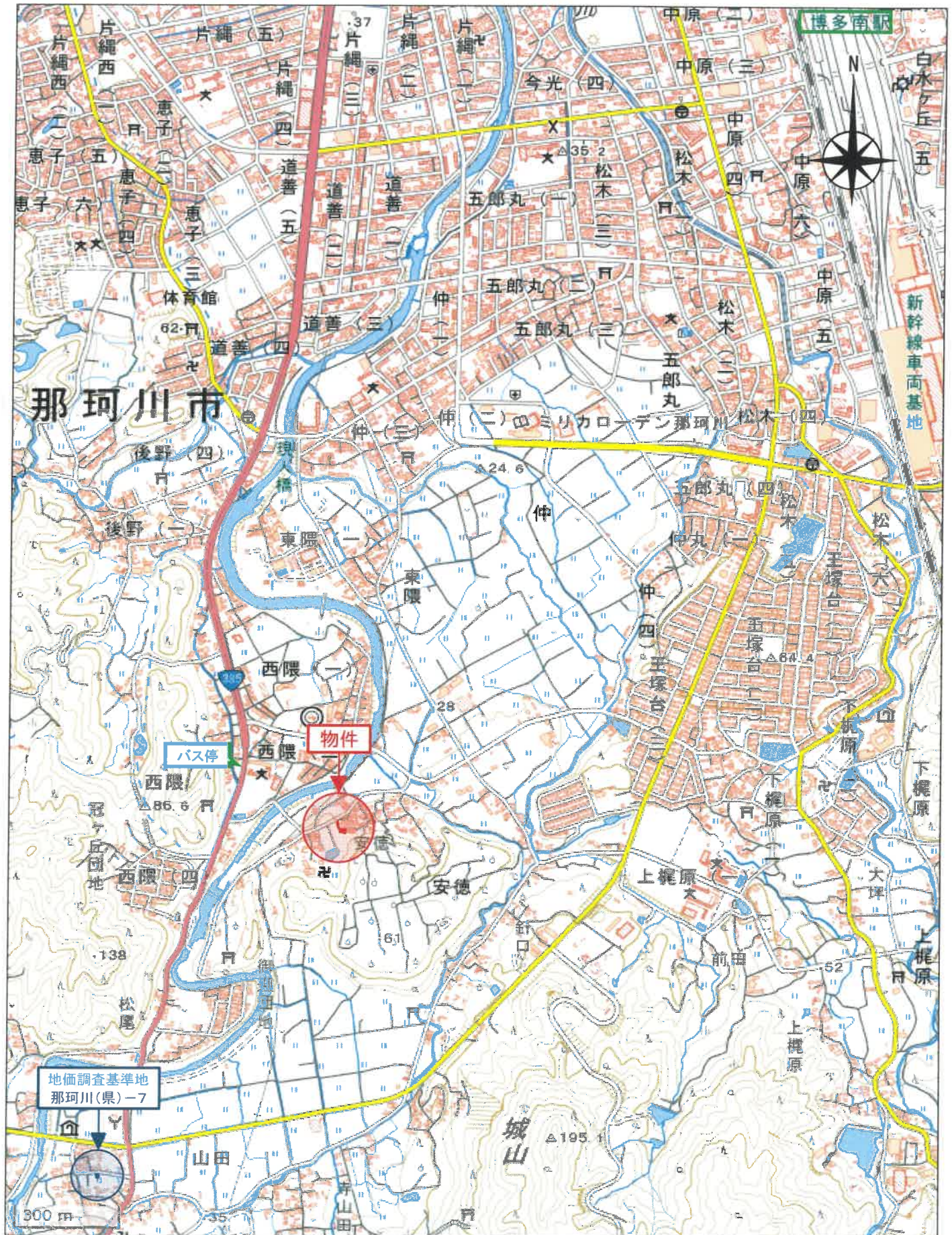
以 上

B I T用は位置図のみ添付。その他は現況調査報告書を参照

位置図

地理院地図

GSI Maps



「国土地理院 電子地形図(タイル)」より引用

位置図

地理院地図
GSI Maps



「国土地理院 電子地形図(タイル)」より引用